

ジャングルジム 通信

中学受験 模試が本格化

9月より2学期に入りました。2022年の中学受験を目指す小学校6年生にとって、9～11月は【模試と向き合う】ことがテーマとなります。また徐々に各々の志望校の【過去問】の対策も始まり、ジャングルジム第5期生も忙しい日々を過ごしております。

～2021年度 小6の主な模試の予定～

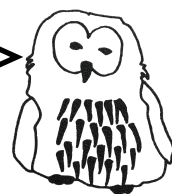
日程	模試	主催
10月3日(日)	第4回合格判定模試	首都圏模試センター
10月3日(日)	合格判定テスト	日能研
10月17日(日)	第4回不合格判定テスト	四谷大塚
10月17日(日)	合格力実践テスト	日能研
10月24日(日)	第2回合格力判定サピックスオープン	SAPIX
10月31日(日)	合格判定テスト	日能研
11月3日(水・祝)	第5回合格判定模試	首都圏模試センター
11月14日(日)	第5回不合格判定テスト	四谷大塚
11月14日(日)	合格力実践テスト	日能研
11月14日(日)	第3回合格力判定サピックスオープン	SAPIX
12月5日(日)	第6回合格判定模試	首都圏模試センター
12月5日(日)	第4回合格力判定サピックスオープン	SAPIX
12月5日(日)	合格判定テスト	日能研
12月12日(日)	第6回不合格判定テスト	四谷大塚

ジャングルジムの自習スペースはジャングルジムの形をしています。自分だけのスペースが確保されているので高い集中力を維持することができます。



↑小6は授業がない日にも塾に来て黙々と自習しています。

上記の模試以外に、志望校別の模試もあり、受験生の中には、毎週模試を受けるといふ子もいます。大変だけど頑張れ!!!



模試の平均点予想

模試の平均点予想を毎回行っております。国語・社会は代表：早川が、算数・理科は教務責任者：向後がそれぞれブログやTwitterにて行っております。これは、お楽しみの部分以外に【我々指導者側の感覚と受験生の感覚がどれくらい近い/離れているか】といったものの確認のために毎回行い、当たっても外しても正答率やジャングルジム生の特色などを徹底的に分析することによって指導に役立てております。

第3回不合格判定テスト							
国語(男子)予想	国語(男子)結果	国語(女子)予想	国語(女子)結果	算数(男子)予想	算数(男子)結果	算数(女子)予想	算数(女子)結果
78.8	73.3	85.6	80.1	75	73.3	68	65.2
社会(男子)予想	社会(男子)結果	社会(女子)予想	社会(女子)結果	理科(男子)予想	理科(男子)結果	理科(女子)予想	理科(女子)結果
52.3	53.3	48.4	49.4	52	48.8	48	43.8

“ゆる受験”でもOK!?

先日、このようなネットニュースを見ました。

タイトルにもあるように“ゆる受験”というワードにもあるように、小6になってからの中学受験対策でも狙えるオススメの学校というテーマで、さまざまな学校が紹介されています。

ジャングルジムでも毎年のように6年生になってから中学受験を本格的に志すようになったという生徒さんが入塾してきます。では、果たしてその受験が“ゆる受験”だったかという点と全然ゆるくなく、むしろキツかったのではないかと思います。ジャングルジム1期生のある男子は、中学受験をしようと塾を探し始めたのが6年生の7月でした。当然大手塾には入塾できず、開校したばかりのジャングルジムに入塾しました。彼が目指す学校は明治大学附属中野中学校でした。付属校人気が高まりつつあった時期ですし、明治大学に毎年8割以上の推薦入学ができる同校は難関校です。さらに、受験勉強を始めた時期も夏期講習直前ということで、小6の集団授業にわりながらも、小4のテキストを自力で仕上げ、小5の授業にも参加しながらとにかく起きている時間は全て受験勉強というようなハードな夏休みを送りました。

そして、9月の模試の結果は夏から始めたという点から考えると素晴らしい成績であることは確かなのですが、明大中野を狙っていくには程遠いもので、本人はもちろんですが指導している我々も落ち込んでしまいました。

そこから9月、10月、11月とできなかつた所ができるようになった代わりに今までできていたものが出来なくなってしまいう繰り返しもがき苦しみながら、入試本番を迎えました。1月には小4の地理の授業を一緒に受けて、小5の歴史の授業を受けながら、過去問対策に取り組みました。2月2日の明大中野の試験は残念ながら不合格。

前日の明大中野八王子に合格していたので、我々としては「半年の受験でよくここまで来た。素晴らしい」と感激していたところ、3日の朝から塾に彼がやってきて、「どうしても明日の試験に受かって明大中野に行きたい。明日何が出るか教えてくれ」と2日の問題を持ってきました。もちろん我々は占い師ではないので、なんとか1回目の試験から考えられる2回目の特徴などをもとに一緒に勉強していき、翌日を迎えました。雪の降る2月4日、彼は1回目より難しいとされる明大中野の2回目入試を見事突破しました。これはうまくいった話だから良いのですが、同じように小6から受験勉強を志し、多くの時間を費やして挑んでも結果が伴わなければとても辛い思いをさせていただきます。

また、この記事で紹介されている学校はジャングルジム生が実際に通っている学校であったり、志望校になっていたりしたこともあるのですが、“ゆる受験”で狙える学校という紹介のされ方だとあまりにも学校や、その学校を目指して毎日頑張っている受験生や保護者の皆様への敬意がないのではと思ってしまう。

ジャングルジムでは“キャリアとはハシゴでなくジャングルジムのようなものである。登り方は人それぞれ”という理念に基づいて、習い事と両立した中学受験勉強や、小6になってから志す中学受験のサポートといった、大手塾では実現できないテーマに果敢に挑戦してきました。まだ道半ばではありますが、ゆるくはないけれど、楽しくハードに勉強しているという姿勢で、これからも精進を重ねていこうとこの記事を読んで決意を新たにしました。

おかげさまで、ジャングルジムの中学受験が地域のみなさまに受け入れられてきており、小6、小5と定員に達することができました。また、小4と小3も定員間近になっております。

受験が近づいてきていることから、小6の募集は終了となりましたが、クラスの増設を行いましたので、小5は若干名の募集がございます。画一的な指導と一線を画すジャングルジムの中学受験指導にどうぞご期待ください。



「塾通いは1年だけの“ゆる受験”でもOK」偏差値的におトクな私立中学10校
プレジデントオンラインより



ジャングルジム通信へのご意見やご感想、
このような記事を書いてほしいというご要望等あ
りましたらお気軽にLINEを送ってください。

公式LINE



中学受験専門塾ジャングルジムの
ホームページはこちら